



くの しんや 久野 諱也氏 (筑波大学大学院教授)



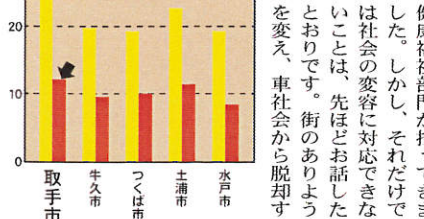
健康…個々人が健康で生きがいを持ち、安心安全で豊かな生活を営むことを表す造語。

変貌したフライブルク市(ドイツ)の中心市街地



2011年 1970年代 出典: フライブルク市公文書館 Copyright © スマートウエルネスシティ地域活性化総合特別区域協議会 2012 All Rights Reserved

■ 血糖値の状態からみた各市の特定健診受診者総数に対する糖尿病・糖尿病予備軍の割合(平成22年度特定健診の結果より)



日本では公共工事が目的にあり、社会を変革しようとする動きが投資をうま

久野諱也氏プロフィール

1992年3月、筑波大学大学院博士課程医学研究科形態系専攻1年短縮修了(医学博士)。その後、東京大学助手、同大学院客員研究員、カリフォルニア大学客員研究員などの職歴を経て、現在、筑波大学大学院人間総合科学研究科スポーツ医学専攻教授。また、2002年7月に株式会社つくばウエルネスリサーチを設立、同社代表取締役社長を兼任し、今に至る。

久野 環境都市として有名なドイツのフライブルク市では、環境面から43年前に中心市街地に自家用車を入れない政策を実施しました。初め住民や商店街は猛反対でしたが、粘り強い交渉の結果、実現にこぎ着けたといいます。そこで注目したいのは、二次的な効果です。その街では歩く人が増え、人々の滞留時間が伸び、商店街では従来の3倍以上の売り上げにつながったそうです。歩いていて目に留まったものをつい買ってしまふ、ということですね。車で通過してしまつてはそういうことは起きません。

久野 欧州の多くの都市では、一度撤廃した公共交通の再生に取り組んでいますが、LRTといういわゆる路面電車やバス専用レーンの整備などです。

久野 車社会からの脱却で健康の街へ活用することが重要で、従来の高度経済成長に合った整備ではなく、右肩下がりに合わせた公共投資です。

久野 従来は健康施策を健康福祉部門が担ってきま

さんが書かれたエッセーでは、日常的に発生する偶然の出会い、ふとした接触の積み重ねが、地域のつながりを醸成していく、ということを教えてください。

久野 大変大事なことだと思ふ。街が変わつていく姿を市民がその目で見ることが出来る仕掛けは重要

(仮称)ウエルネスプラザ完成予想図



新春対談 ~加速する人口減・高齢化に備える~



藤井 信吾 取手市長

久野 われわれの研究グループは「賢く健康になれる街スマートウエルネスシティ」をつくる事がこれからの日本に必要なことと定義して活動しています。

久野 これからの政策を打ち出していくかは、現時点の状態だけを考えるのではなく、将来の予測を踏まえて考えることが必要です。

久野 スマートウエルネスシティの方向性

久野 経済の予測に比べて人口シミュレーションの怖いところは、予測がほとんどずれないことです。

久野 S.W.C.では、街づくりを中心に総合的な健康づくり施策を模索しています。

久野 私が見たいのは、30分以上の有酸素運動でなければ効果がないという論が、10年前に完全に否定されました。

藤井 私は、取手市の高齢化が加速的に進んでいるという、この現状をしっかりと認識した上で、それに対応する政策のヒントを得たいと考え、先生が主宰するスマートウエルネスシティ首長研究会(S.W.C.)に、第2回目から継続して参加させていただいています。

藤井 私は、取手市の高齢化が加速的に進んでいるという、この現状をしっかりと認識した上で、それに対応する政策のヒントを得たいと考え、先生が主宰するスマートウエルネスシティ首長研究会(S.W.C.)に、第2回目から継続して参加させていただいています。

藤井 私は、取手市の高齢化が加速的に進んでいるという、この現状をしっかりと認識した上で、それに対応する政策のヒントを得たいと考え、先生が主宰するスマートウエルネスシティ首長研究会(S.W.C.)に、第2回目から継続して参加させていただいています。

藤井 私は、取手市の高齢化が加速的に進んでいるという、この現状をしっかりと認識した上で、それに対応する政策のヒントを得たいと考え、先生が主宰するスマートウエルネスシティ首長研究会(S.W.C.)に、第2回目から継続して参加させていただいています。

藤井 私は、取手市の高齢化が加速的に進んでいるという、この現状をしっかりと認識した上で、それに対応する政策のヒントを得たいと考え、先生が主宰するスマートウエルネスシティ首長研究会(S.W.C.)に、第2回目から継続して参加させていただいています。

藤井 私は、取手市の高齢化が加速的に進んでいるという、この現状をしっかりと認識した上で、それに対応する政策のヒントを得たいと考え、先生が主宰するスマートウエルネスシティ首長研究会(S.W.C.)に、第2回目から継続して参加させていただいています。

藤井 私は、取手市の高齢化が加速的に進んでいるという、この現状をしっかりと認識した上で、それに対応する政策のヒントを得たいと考え、先生が主宰するスマートウエルネスシティ首長研究会(S.W.C.)に、第2回目から継続して参加させていただいています。

藤井 私は、取手市の高齢化が加速的に進んでいるという、この現状をしっかりと認識した上で、それに対応する政策のヒントを得たいと考え、先生が主宰するスマートウエルネスシティ首長研究会(S.W.C.)に、第2回目から継続して参加させていただいています。

藤井 私は、取手市の高齢化が加速的に進んでいるという、この現状をしっかりと認識した上で、それに対応する政策のヒントを得たいと考え、先生が主宰するスマートウエルネスシティ首長研究会(S.W.C.)に、第2回目から継続して参加させていただいています。

藤井 私は、取手市の高齢化が加速的に進んでいるという、この現状をしっかりと認識した上で、それに対応する政策のヒントを得たいと考え、先生が主宰するスマートウエルネスシティ首長研究会(S.W.C.)に、第2回目から継続して参加させていただいています。

藤井 私は、取手市の高齢化が加速的に進んでいるという、この現状をしっかりと認識した上で、それに対応する政策のヒントを得たいと考え、先生が主宰するスマートウエルネスシティ首長研究会(S.W.C.)に、第2回目から継続して参加させていただいています。

藤井 私は、取手市の高齢化が加速的に進んでいるという、この現状をしっかりと認識した上で、それに対応する政策のヒントを得たいと考え、先生が主宰するスマートウエルネスシティ首長研究会(S.W.C.)に、第2回目から継続して参加させていただいています。

歩いて過ごす街はにぎわう

■ 年代別人口と65歳以上の人口割合の推移(平成23年5月発行「取手市公共施設マネジメント白書」より)

